

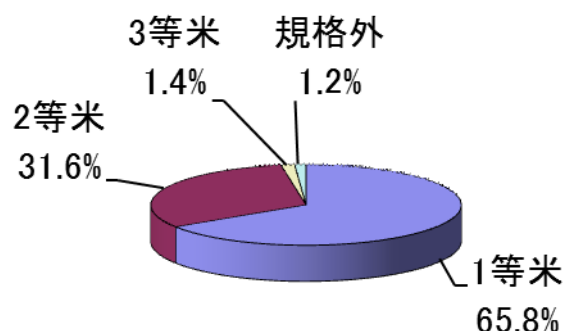
## 平成 23 年産水稻の生育概況等について

**生育概況** 出穂後の生育は、日照時間が平年を下回った日がみられ、また、一部のほ場で台風 15 号の影響による倒伏や穂いもちの被害もみられたものの**平年並み**となった。

**収 量** 平均収量は、**ヒノヒカリ**⇒510.7 kg/10a (対平年比 104.5%)  
**まいひかり**⇒617.6 kg/10a (対平年比 102.8%)  
**おてんとそだち**(新品種)⇒624.0 kg/10a

**品 質** 1 等米比率は、全体で **65.8%**となり、  
 昨年の **34.0%**から大幅に増加した。

**ヒノヒカリ** ⇒1 等米比率が **55.6%**  
**まいひかり** ⇒1 等米比率が **84.0%**  
**おてんとそだち**⇒1 等米比率が **73.1%**

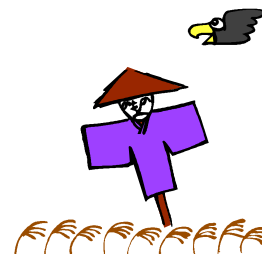


## 平成 24 年度農業者戸別所得補償制度について

制度の概要は平成 23 年度とほぼ同じ。4 月上旬受付予定。

## 1. 水田作物に対する支援

- (1) 米の所得補償交付金：15,000 円/10a
- (2) 米価変動補てん交付金
- (3) 水田活用の所得補償交付金
  - ①戦略作物助成：3.5 万円(麦・大豆・飼料)、  
8 万円(米粉用米、飼料用米、WCS用稲)、2 万円(そば・なたね・加工用米)
  - ②二毛作助成：15,000 円/10a
  - ③耕畜連携助成：13,000 円/10a (耕種農家へ交付されます)
  - ④産地資金：地域の実情に即して取り組む団地化や地域振興作物の生産等に対する助成。



## 2. 畑作物に対する支援

- (1) 畑作物の所得補償交付金  
 「数量払」(品質加算あり)と「面積払」(営農継続支払)の併用  
 ①先払い：「面積払」⇒②後払い：「数量払」の確定額と「面積払」の差額

## 3. 各種加算措置等

- (1) 規模拡大加算
  - ①農地の「受け手」に対する支援
  - ②農地の「出し手」に対する支援「農地集積協力金」(新規)
- (2) 再生利用加算
- (3) 緑肥輪作加算
- (4) 集落営農の法人化支援

## 生産資材情報

### 甘藷専用有機化成（甘藷用低コスト肥料）

価格は2,016円（予約1,974円）10a／4袋、過去2年、普及センターとJA都城が共同で、複数の圃場にて既存の肥料と対照試験を行った結果、全ての圃場にて収量が約100～1,000kg増収いたしました。また、原料が有機質ですので地力向上も期待できます。

### アクタラ粒剤5（コガネムシ防除剤）

価格は3,024円（予約2,972円）10a／6kg、甘藷のコガネムシ対策として、ダイアジノンSLゾル・ダントツ粒剤等がありますが、今回ご紹介するアクタラ粒剤5は里芋の登録がありますので、甘藷と里芋を作付けされ粒剤の使用をお考えの方には便利な農薬だと思われます。

また、効果についても、ダントツ粒剤との対照試験にて同等の結果が出ています。



アクタラ粒剤5

## 焼酎原料甘藷

●植付け前の圃場の土壌消毒は、甘藷の品質に影響しますので消毒の徹底をお願いします。

農薬名	使用法	使用量	対象病害虫
クロールピクリン	1穴あたり 2～3ml	マルチ同時処理 10～12L/10a	立枯病、つる割病、紋羽病、センチュウ類、ハリガネムシ、ネキリムシ、ケラ、畑地1年生雑草
D-D	1穴あたり 1.5～2ml	全面処理:20L/10a マルチ同時処理:10L/10a	ネコフセンチュウ、ネグサレセンチュウ
※ネマトリンエース粒剤	全面土壌混和	10～30kg/10a	ネコフセンチュウ
※ネマキック粒剤	全面土壌混和	15～20kg/10a	ネコフセンチュウ

・D-Dを10aあたり20L全面処理し、鎮圧した後、約2～3週間空け、十分にガス抜きを行う。

・うね立てマルチ同時処理の場合は、10aあたり10Lを植付け10日以上前に処理する。

・紋羽病や立枯病に対しては、うね立て時にクロールピクリン10aあたり10～12Lをマルチ内処理する。

※線虫被害を受けやすいと思われる圃場では、D-Dとネマトリンエースまたはネマキックの両方を用いる。

## さといも販売情報（平成24年4月1日から次回改定まで）

- 赤芽里芋（荒）2,500円：袋/税込
  - 白芽里芋（荒）1,000円：袋/税込
  - 富士里芋（荒）1,000円：袋/税込
- ※早めの出荷をお願いします！

今年作付の里芋の契約受付を開始しました。詳しくは営農サポーターか支所園芸指導員まで！！



## 子牛セリ市情報（2月26日～28日）

口蹄疫の影響（授精業務の解禁）を受け、今月は2回の開催となりました。（売却分1,408、単位：円）

	頭数	平均体重	最高価格	最低価格	平均
めす	599	270	906,150	128,100	427,183
去勢	809	290	682,500	65,100	461,226

## 新体制がスタートしました

平成 24 年度の営農サポーターは 3 名の体制になりました。担当支所と自己紹介を今月号でお知らせいたします。

《横山憲明(庄内出身):五十市、庄内、西岳、三股地区担当》

業務歴⇒経済課窓口、貯金・共済渉外

ひとこと⇒皆様に様々な情報をお届けし、農協の窓口的役割を果たせるよう頑張っていきたいです。

《内村真澄(高崎出身):山田、高崎》

業務歴⇒支所営農経済課、農産指導員

ひとこと⇒皆様の色々な要望・相談に答えていきます。よろしくお祈りいたします。

《猪俣博(庄内出身):姫城、祝吉、沖水、志和池、梅北、安久、山之口、高城》

業務歴⇒支所金融課、畜産部、営農支援(青色申告業務)

ひとこと⇒毎月一回の訪問を努力目標に掲げ、皆様への営農情報の提供や相談事項の解決に取り組んでいきたいと思っております。



よろしく  
お願いします!!

最近のTPPをめぐる議論は、あまりにも現実を知らないものが多すぎると感じます。食料・農業・経済のあり方という国のもっとも基本的で重要な政策をめぐる議論でなければなりません。それなのに、政治家の間でも、国民の間でも、きちんとした議論が不足していると思います。農業が縮小することは国土の保全や生態環境への影響も甚大で、農業者はもとより地域の幅広い企業・組織・人々、そして国民全体に関係してくる問題です。

JA都城、JAグループはこれからもTPP阻止へ戦い続けます。



JA都城

この情報のお問い合わせは営農サポーターまでお願いします。

営農企画室 営農サポートチーム TEL38-6693

営農サポーター：猪俣、内村、横山 FAX38-6692